

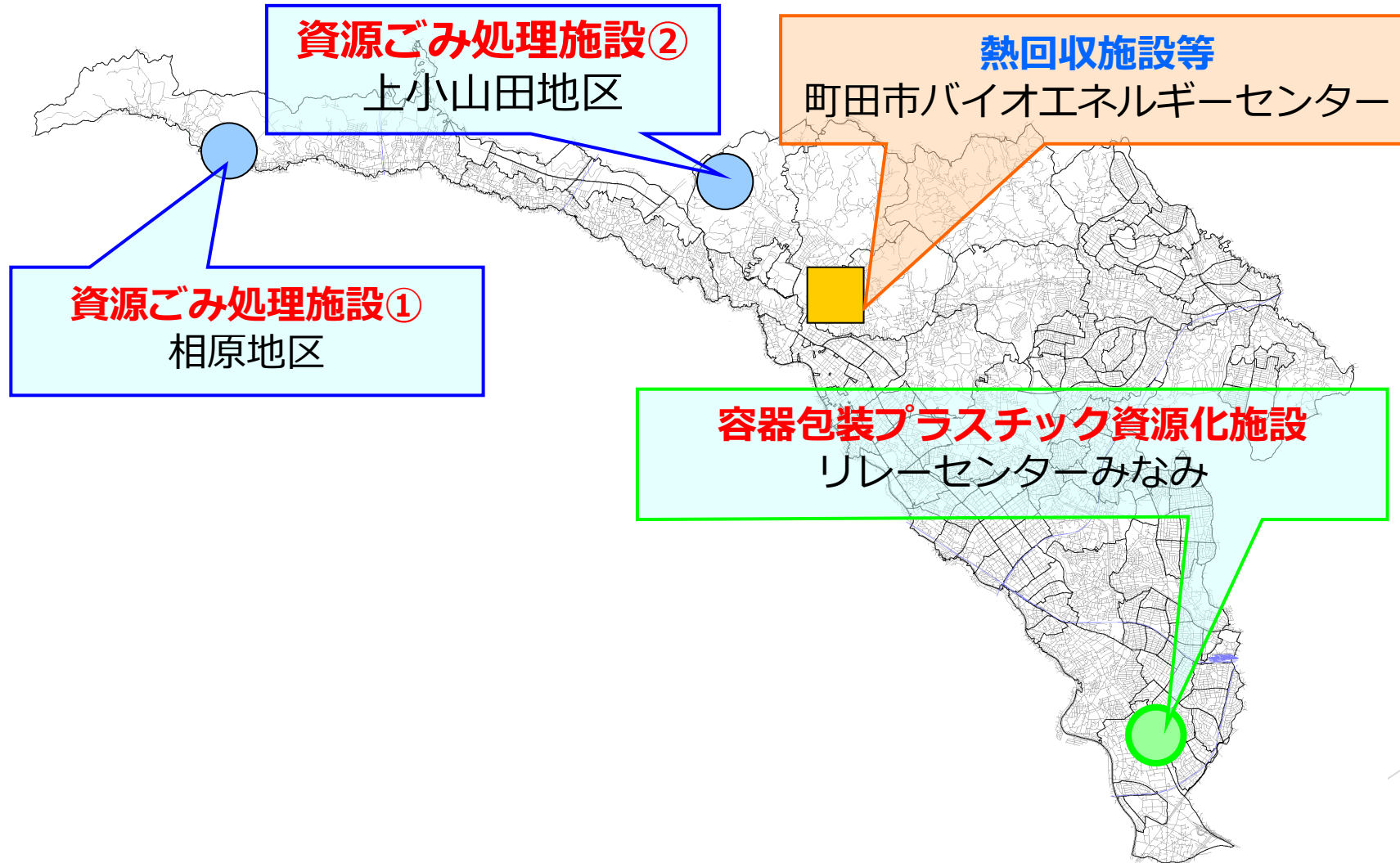
上小山田地区 資源ごみ処理施設について

～施設計画位置の見直しに関するご報告～

目次

1. 町田市の資源化の状況について
2. 資源ごみ処理施設の整備について
3. 施設位置の検討（比較のポイント）
4. 施設位置の検討（比較表）
5. 施設位置の検討（計画位置（案））

1. 町田市の資源化の状況について



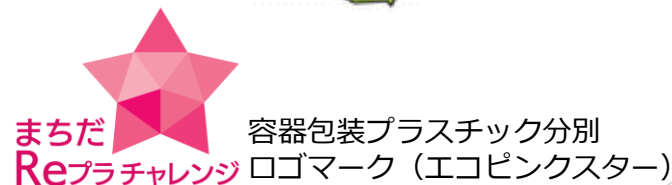
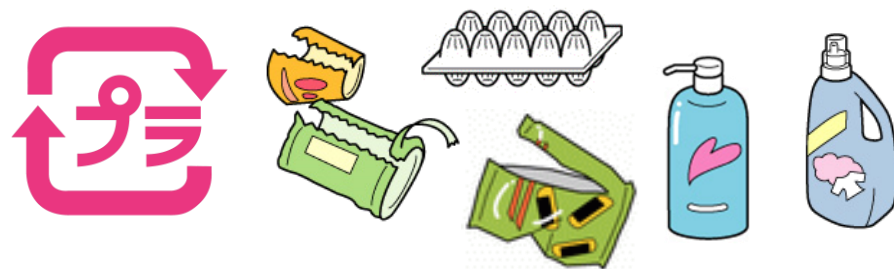
2. 資源ごみ処理施設の整備について

施設の種類			整備状況
熱回収施設等	①	焼却施設	・町田市バイオエネルギーセンター (2022年1月稼動開始)
	②	バイオガス化施設 (生ごみ資源化施設)	
	③	不燃・粗大ごみ処理施設	
	①	容器包装プラスチック圧縮梱包施設	・リレーセンターみなみ (2016年4月稼動開始)
資源ごみ処理施設	②	容器包装プラスチック・製品プラスチック圧縮梱包施設	相原地区・上小山田地区 に整備予定
	③	カン選別処理施設	
	④	ビン選別処理施設	
	⑤	ペットボトル圧縮梱包施設	
	⑥	有害ごみ(乾電池・蛍光灯等)貯留場所	
	⑦	小型家電貯留場所	

2. 資源ごみ処理施設の整備について

2026年4月1日から町田市全域で
容器包装プラスチックの分別収集が開始！

市内で安定した資源ごみの処理を行うために、
早期に資源ごみ処理施設を整備し稼働させる必要があります！！



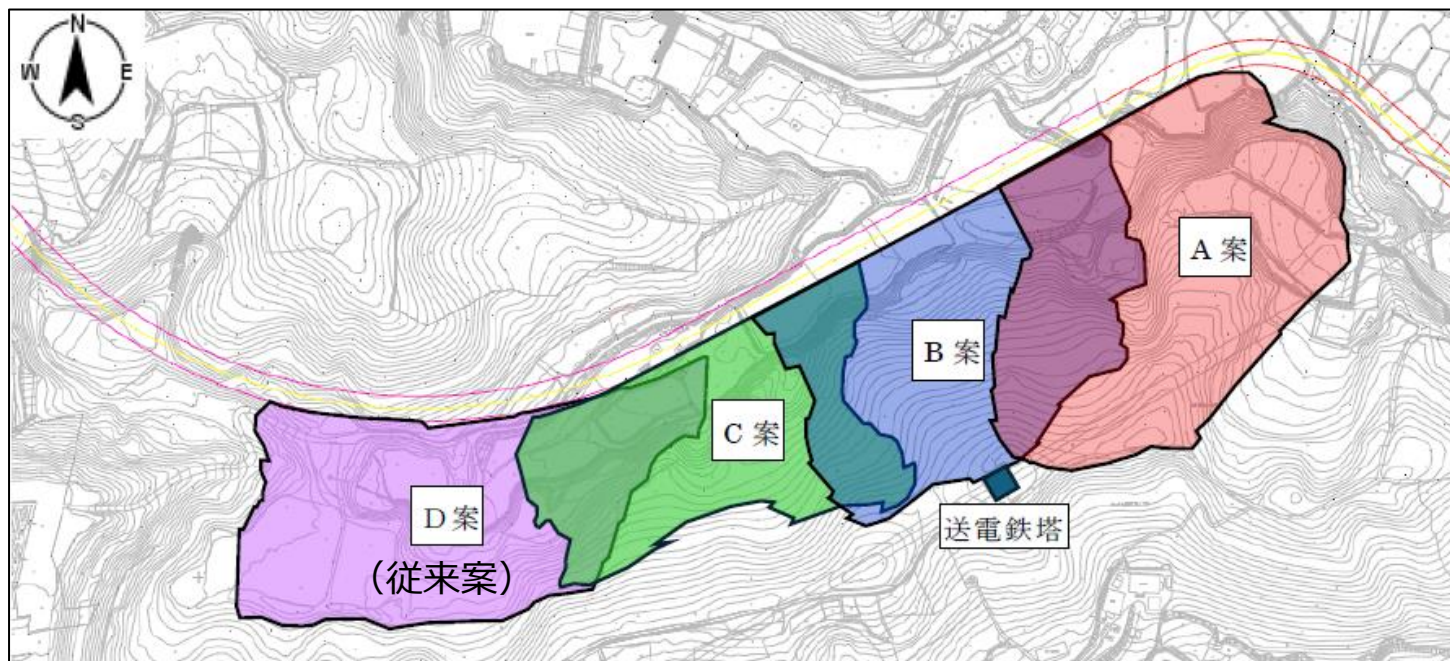
2. 資源ごみ処理施設の整備について

以下の方針を基に進めてまいります。

1. ごみの資源化及び減量化推進活動の拠点・環境学習の場としての機能の確保
2. 市民協働の場としても活用できる研修室等の整備
3. 緑地の面積を最大限確保し、景観に配慮した建物デザイン
4. 防災備蓄倉庫機能等の整備
5. 敷地内にかかる土砂災害特別警戒区域等の解消

3. 施設位置の検討（比較のポイント）

施設の整備期間、費用等の観点から比較を行いました。



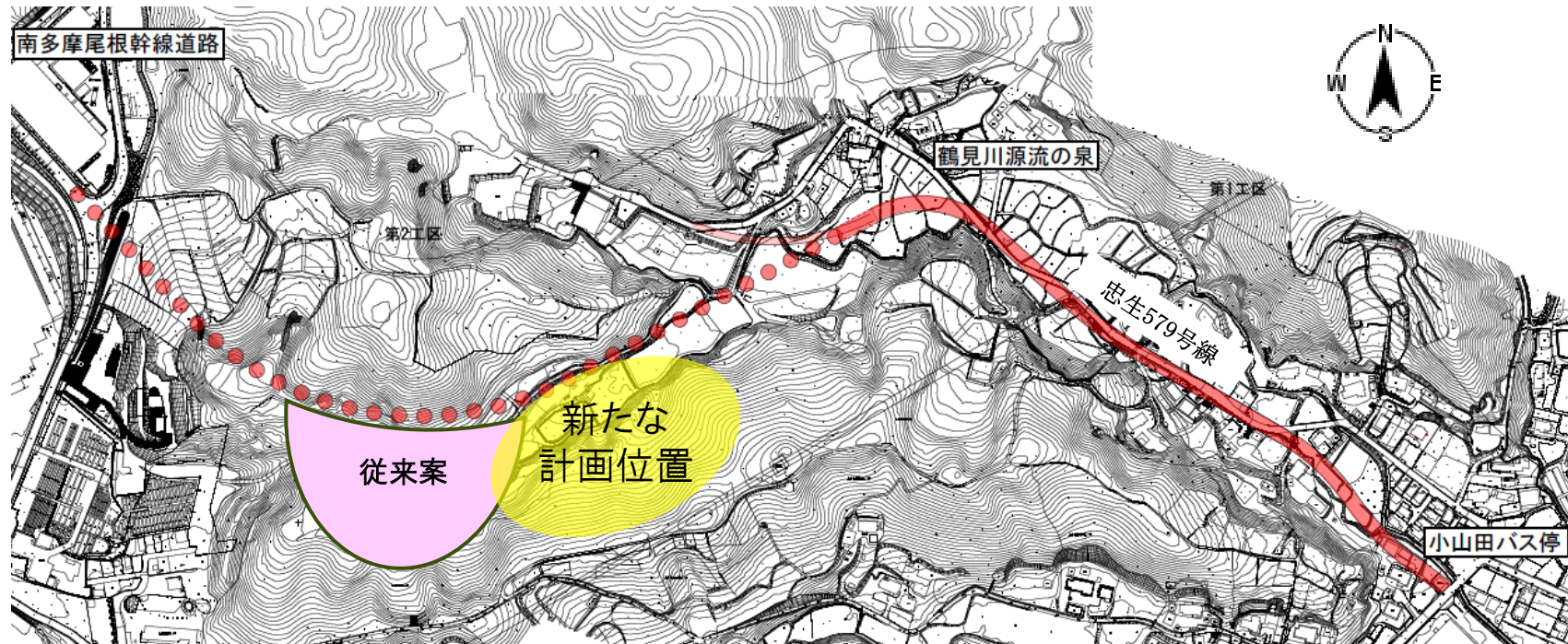
4. 施設位置の検討（比較表）

C案が最も優位であり、
従来案に近いD案は切盛土量が多いことから、
工期や費用が不利な結果となりました。

	A案	B案	C案	D案
切盛土量	△	○	○	△
工期	△	◎	◎	△
費用	△	◎	◎	△
送電鉄塔	○	△	○	○
近隣住宅までの距離	○	◎	◎	◎
評価	7	1 2	1 3	8

5. 施設位置の検討（計画位置（案））

評価が最も優位になったC案を基本として、新たな施設計画位置（案）を考えています。



※忠生579号線及び資源ごみ処理施設の計画位置（案）について、多少のズレが生じることがあります。ご承知おください。

ご清聴ありがとうございました。